

第8回「県内企業景気動向調査」結果

(平成18年8月調査)

【景気動向調査の要旨】

- ◆ 今期(平成18年4-6月期) 県内企業の業況判断を示すD I値(「自社の業況」D I値)は5.1(前期比)であり、前回調査時点(平成18年5月)より0.3ポイント改善した。
- ◆ 業種別に見ると、依然として建設業で「悪い」超であったものの、そのほかの業種では「良い」超であった。特に、製造業のD I値(前期比)は22.9と最も高く、好調であった。
- ◆ 地域別に見ると、最上が「良い」超に転じたため、6地域中4地域で「良い」超となるなど、徐々に景気の回復感が拡がりつつある。
- ◆ 「自社の業況」D I値は4四半期連続で「良い」超となっており、県内景気は緩やかながらも順調に回復している。

【特別調査の要旨】

- ◆ 今年度の設備投資動向について
今年度中に設備投資を行う予定がある県内企業は、全業種で26.5%となっており、およそ4社に1社は設備投資を計画していることがわかった。
- ◆ 最近の原油高の影響について
最近の原油高が業況に及ぼす影響については、「影響あり」と回答した企業が全業種で80.9%を占めており、「影響なし」と回答した企業(3.6%)を大幅に上回った。

平成18年8月

株式会社荘銀総合研究所

山形県の景気動向

1. 概況

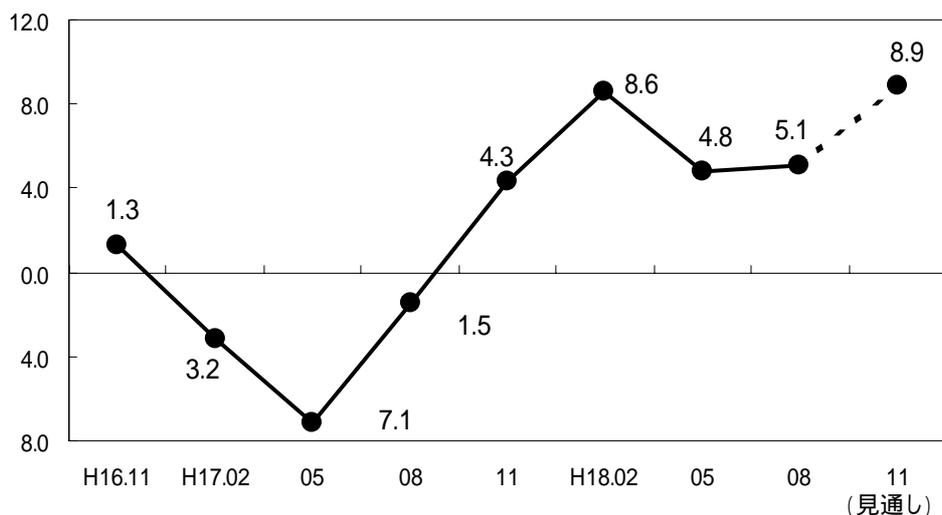
県内企業の業況は、自社の業況判断を示すD I値（「自社の業況」D I値）でみて、前年同期比、前期比ともに「良い」超。前期比の値は前回調査時点（平成18年5月）と比べて0.3ポイント改善し、5.1となった。

各D I値の動向

(調査時点)	(前期比)		売上高	営業利益	人員人手	資金繰り
	自社の業況	(前年同期比)				
H 17.11	4.3	(2.0)	2.3	14.7	9.3	8.6
H 18.02	8.6	(1.8)	1.0	10.2	5.7	9.4
H 18.05	4.8	(9.5)	2.2	12.6	1.4	7.2
H 18.08	5.1	(6.1)	1.8	10.7	2.0	7.4
H 18.011(見通し)	8.9	(-)	6.9	5.1	1.0	15.8

「売上高」D I値は建設業の「完成工事高」を含んだ値。

「自社の業況」D I値（前期比）の推移



2. 業種別の動向

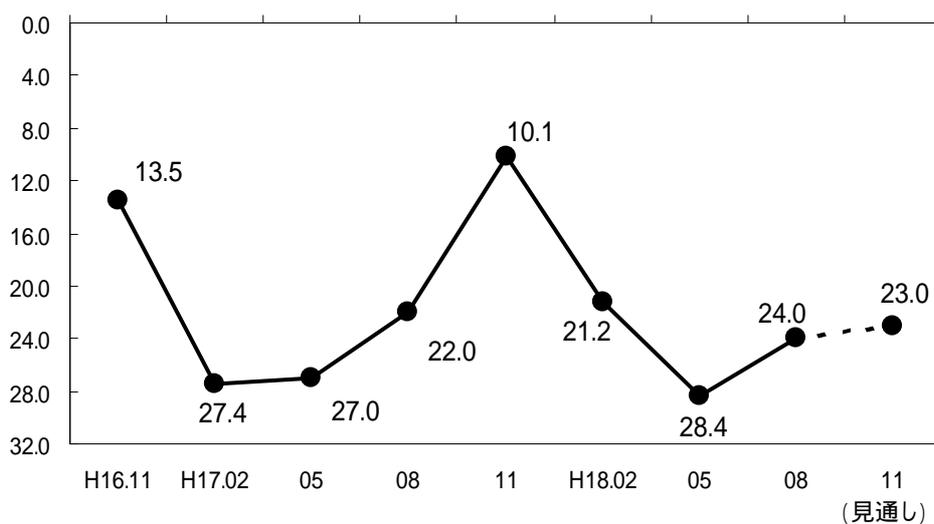
(1) 建設業

業況は、前年同期比、前期比ともに「悪い」超。「自社の業況」DI値（前期比）は前回調査時点より4.4ポイント改善し、24.0となった。

各DI値の動向

(前期比) (調査時点)	自社の業況		完成	営業	手持	人員	資金
		(前年同期比)	工事高	利益	工事高	人手	繰り
H 17.11	10.1	(23.3)	17.1	34.3	8.0	18.2	26.2
H 18.02	21.2	(51.5)	29.3	48.5	16.1	4.0	20.2
H 18.05	28.4	(24.7)	38.3	38.3	29.6	22.2	28.4
H 18.08	24.0	(21.0)	29.0	38.0	15.0	14.0	27.0
H 18.011(見通し)	23.0	(-)	27.0	40.0	22.0	15.0	39.0

「自社の業況」DI値（前期比）の推移



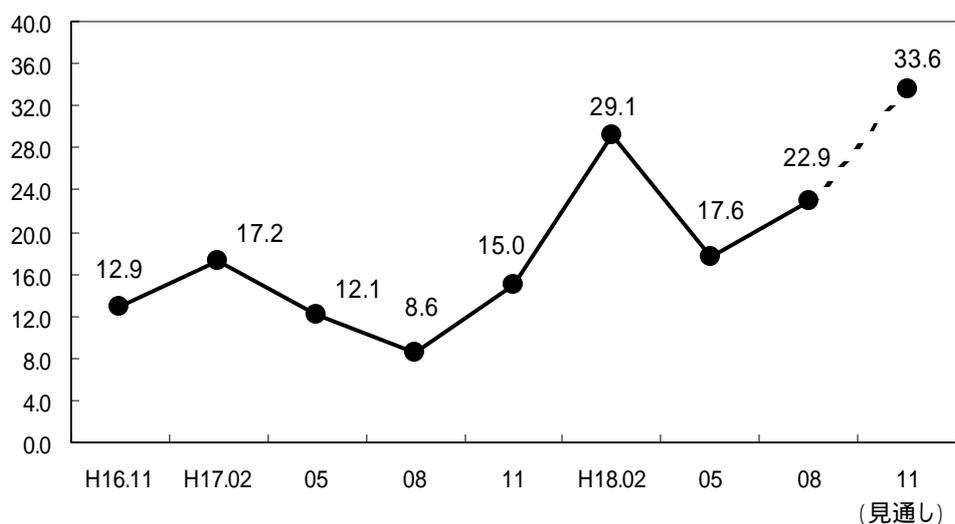
(2) 製造業

業況は、前年同期比、前期比ともに「良い」超。「自社の業況」DI値(前期比)は前回調査時点より5.3ポイント改善し、22.9となった。

各DI値の動向

(調査時点) (前期比)	自社の業況		売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員人手	資金繰り
		(前年同期比)						
H 17.11	15.0	(19.6)	8.7	0.8	44.9	10.2	7.1	3.1
H 18.02	29.1	(12.8)	22.8	7.3	47.3	8.2	8.2	0.9
H 18.05	17.6	(28.7)	10.2	9.3	54.6	4.7	10.2	5.5
H 18.08	22.9	(22.2)	18.9	1.6	61.5	1.6	9.1	5.7
H 18.11(見通し)	33.6	(-)	25.4	14.7	59.9	18.0	7.4	2.5

「自社の業況」DI値(前期比)の推移



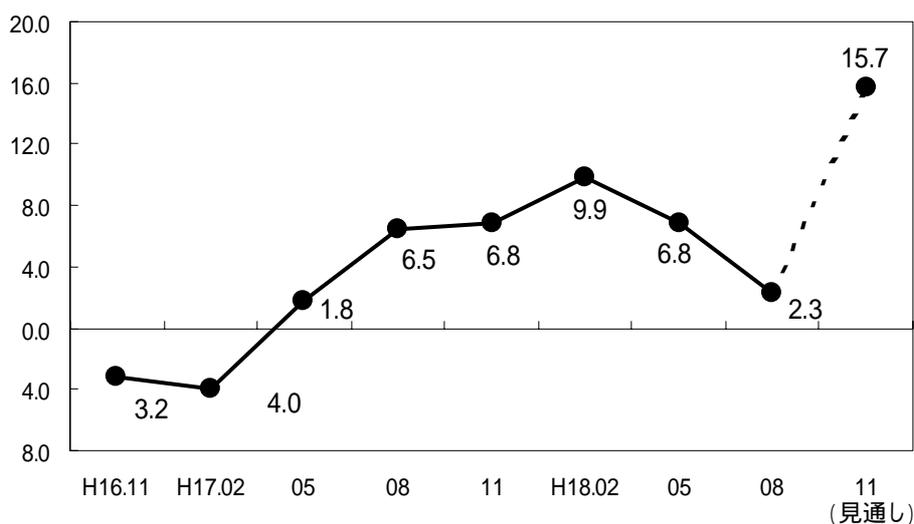
(3) 卸・小売業

業況は、前年同期比、前期比ともに「良い」超。「自社の業況」DI値(前期比)は前回調査時点より3.1ポイント低下し、2.3となった。

各DI値の動向

(調査時点) (前期比)	自社の業況		売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員人手	資金繰り
		(前年同期比)						
H 17.11	6.8	(1.1)	1.1	17.0	38.7	2.2	1.1	15.9
H 18.02	9.9	(4.4)	14.3	6.6	42.8	4.4	7.7	14.3
H 18.05	6.8	(12.4)	11.2	2.3	49.5	3.4	11.3	6.7
H 18.08	2.3	(2.3)	0.0	3.4	46.1	20.3	3.4	9.0
H 18.11(見通し)	15.7	(-)	19.1	6.8	46.1	22.5	3.3	11.3

「自社の業況」DI値(前期比)の推移



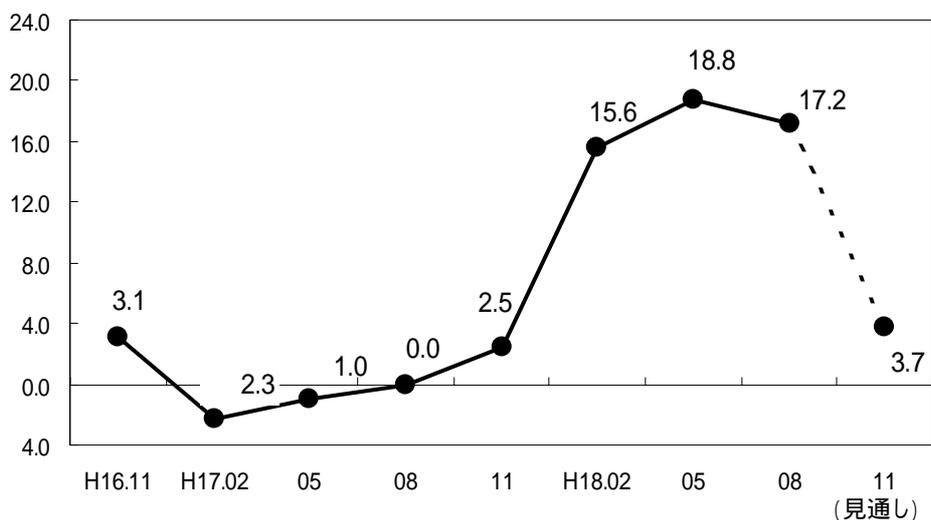
(4) サービス業

業況は、前年同期比、前期比ともに「良い」超。「自社の業況」DI値(前期比)は前回調査時点より1.6ポイント低下し、17.2となった。

各DI値の動向

(調査時点)	自社の業況		売上高	営業利益	人員人手	資金繰り
	(前期比)	(前年同期比)				
H 17.11	2.5	(6.1)	2.5	9.7	11.0	2.4
H 18.02	15.6	(12.0)	6.0	6.0	12.1	2.4
H 18.05	18.8	(15.0)	2.5	7.5	2.5	3.8
H 18.08	17.2	(19.7)	16.0	3.7	9.8	1.3
H 18.11(見通し)	3.7	(-)	7.4	4.9	8.6	12.4

「自社の業況」DI値(前期比)の推移



3. 地域別の動向

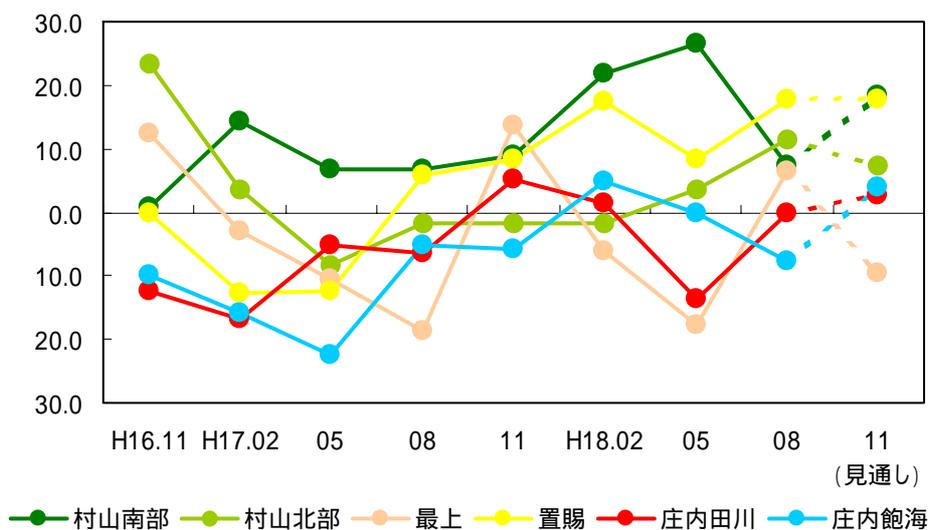
(1) 概況

県内各地の景気動向は、「自社の業況」DI値（前期比）が最上で「良い」超に転じたことにより、6地域中4地域で「良い」超となるなど、徐々に景気の回復感が拡がりつつある。

地域別「自社の業況」DI値（前期比）

(調査時点) (前期比)	村山 南部	村山 北部	最上	置賜	庄内 田川	庄内 飽海
H 17.11	8.9	1.6	13.8	8.3	5.2	5.9
H 18.02	21.8	1.6	6.1	17.3	1.5	4.8
H 18.05	26.6	3.7	17.8	8.2	13.6	0.0
H 18.08	7.3	11.4	6.5	17.8	0.0	7.7
H 18.11(見通し)	18.5	7.5	9.7	17.7	2.8	3.8

地域別「自社の業況」DI値（前期比）の推移



(2) 各地の主要D I 値の動向

村山南部

(全業種)

(前期比) (調査時点)	自社の業況		売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
		(前年同期比)				
H 18.05	26.6	(36.2)	21.3	4.3	7.5	8.5
H 18.08	7.3	(16.5)	10.3	7.2	13.4	0.0
H 18.011(見通し)	18.5	(-)	16.5	2.1	16.5	7.2

(業種別「自社の業況」D I 値)

(前期比) (調査時点)	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
H 18.05	7.7	20.0	32.2	33.3
H 18.08	35.3	23.8	0.0	25.8
H 18.011(見通し)	11.7	38.1	14.3	25.8

村山北部

(全業種)

(前期比) (調査時点)	自社の業況		売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
		(前年同期比)				
H 18.05	3.7	(10.9)	9.1	5.5	5.5	10.9
H 18.08	11.4	(0.0)	11.3	5.7	5.7	7.6
H 18.011(見通し)	7.5	(-)	0.0	0.0	1.9	11.4

(業種別「自社の業況」D I 値)

(前期比) (調査時点)	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
H 18.05	8.3	4.0	20.0	0.0
H 18.08	15.4	36.0	33.3	11.1
H 18.011(見通し)	23.1	40.0	16.6	22.2

最上

(全業種)

(前期比) (調査時点)	自社の業況		売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
		(前年同期比)				
H 18.05	17.8	(25.0)	28.6	28.5	3.5	28.6
H 18.08	6.5	(3.2)	3.3	32.3	16.1	19.3
H 18.011(見通し)	9.7	(-)	3.2	22.5	25.8	32.3

(業種別「自社の業況」D I 値)

(前期比) (調査時点)	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
H 18.05	35.7	16.6	33.3	50.0
H 18.08	29.4	29.4	57.1	50.0
H 18.011(見通し)	41.2	41.2	28.6	75.0

置賜

(全業種)

(前期比) (調査時点)	自社の業況		売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
		(前年同期比)				
H 18.05	8.2	(14.3)	14.3	12.2	4.1	14.3
H 18.08	17.8	(17.8)	1.6	8.1	3.2	1.6
H 18.011(見通し)	17.7	(-)	6.4	8.0	3.2	20.9

(業種別「自社の業況」D I 値)

(前期比) (調査時点)	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
H 18.05	50.0	26.3	7.7	42.8
H 18.08	6.7	25.0	20.0	12.5
H 18.011(見通し)	0.0	33.4	20.0	0.0

庄内田川

(全業種)

(前期比) (調査時点)	自社の業況		売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
		(前年同期比)				
H 18.05	13.6	(7.6)	34.8	36.4	6.1	18.2
H 18.08	0.0	(1.5)	4.2	12.6	1.4	14.1
H 18.011(見通し)	2.8	(-)	1.5	7.0	1.4	25.4

(業種別「自社の業況」D I 値)

(前期比) (調査時点)	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
H 18.05	46.6	15.0	21.1	8.3
H 18.08	21.0	13.6	5.5	16.7
H 18.011(見通し)	31.6	22.7	11.1	8.3

庄内飽海

(全業種)

(前期比) (調査時点)	自社の業況		売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
		(前年同期比)				
H 18.05	0.0	(1.6)	13.7	12.1	3.1	1.5
H 18.08	7.7	(6.4)	7.7	10.3	5.1	10.3
H 18.011(見通し)	3.8	(-)	9.0	6.4	5.1	10.2

(業種別「自社の業況」D I 値)

(前期比) (調査時点)	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
H 18.05	35.3	27.7	0.0	5.6
H 18.08	42.1	4.4	0.0	5.5
H 18.011(見通し)	31.6	34.8	16.6	16.6

・景気の天気図

天気図とは、地域別・業種別に「自社の業況」D I 値（前期比）を5段階に分けて図解したものです。「天気図の凡例」をご参照のこと。

【天気図の凡例】

特に好調 DI > 30	好調 30 > DI > 10	まあまあ 10 > DI > 10	不振 10 > DI > 30	きわめて不振 30 > DI

前期の概況（平成18年5月調査）

	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種							
建設業							
製造業							
卸・小売業							
サービス業							

今期の概況（平成18年8月調査）

	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種							
建設業							
製造業							
卸・小売業							
サービス業							

来期の見通し（平成18年8月調査）

	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種							
建設業							
製造業							
卸・小売業							
サービス業							

・特別調査 : 今年度の設備投資動向について

県内企業の4社に1社が設備投資を計画中

今年度中に設備投資を行う予定がある県内企業は、全業種で26.5%となっており、およそ4社に1社は設備投資を計画していることがわかった(図表-1参照)。中でも、昨年度の秋口より好調を維持している製造業ではDI値が唯一のプラスとなったほか(同)、昨年度の投資実績と比べても今年度の投資額は「増やす」と回答した企業の割合が「減らす」と回答した企業の割合を上回るなど(図表-2参照)、他の業種に比べて投資意欲が旺盛であった。ただ、製造業を除けば、全体的に設備投資を控える傾向が強いことから、県内の景気回復にどの程度の影響をもたらすか、今後注意深く見守る必要がある。

なお、今年度の設備投資予定額の1社あたり平均額はサービス業で最も多く、4,450万円となっているほか、全業種では3,100万円となっている(図表-3参照)。

図表 - 1 今年度中に設備投資を予定している県内企業の割合

	予定あり	未定	予定なし	DI
全業種	26.5	22.9	50.5	24.0
建設業	13.0	23.0	64.0	51.0
製造業	39.7	29.8	30.6	9.1
卸・小売業	21.6	15.9	62.5	40.9
サービス業	29.1	20.3	50.6	21.5

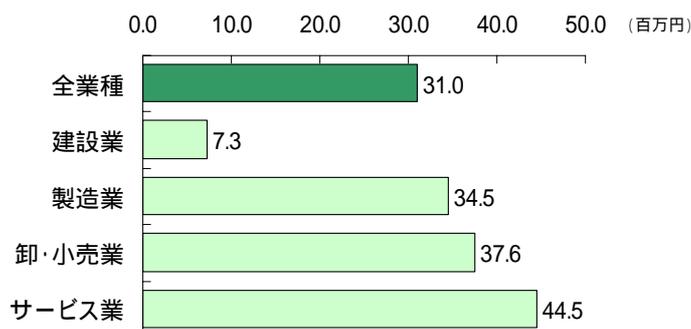
DI値 = 「予定あり」の構成比(%) - 「予定なし」の構成比(%)

図表 - 2 昨年度の実績と比べた場合の今年度の設備投資動向

	増やす	不変	減らす	DI
全業種	18.9	55.1	26.0	7.1
建設業	6.6	58.2	35.2	28.6
製造業	31.6	49.1	19.3	12.3
卸・小売業	15.0	56.3	28.8	13.8
サービス業	18.5	60.0	21.5	3.0

DI値 = 「増やす」の構成比(%) - 「減らす」の構成比(%)

図表 - 3 今年度の設備投資予定額(1社あたり平均額)



特別調査：最近の原油高の影響について

建設業で深刻な影響が懸念される

最近の原油高が業況に及ぼす影響については、「影響あり」と回答した企業が全業種で80.9%を占めており、「影響なし」と回答した企業（3.6%）を大幅に上回った（図表 - 4 参照）。業種別にみると、「影響あり」と回答した企業は建設業で最も多く、89.9%の企業が「影響あり」と回答している。建設業界は建設需要の著しい低迷に悩まされていることから、今後の原油価格の動向次第ではいっそう深刻な事態に追い込まれることも懸念される。ちなみに、今後の原油価格の見通しについては、65.8%の企業が「上がる」と答えており、原油価格の先高感が先行している（図表 - 5 参照）。

図表 - 4 原油高の影響

(%)

	影響あり	どちらとも言えない	影響なし	DI
全業種	80.9	15.5	3.6	77.3
建設業	89.9	8.1	2.0	87.9
製造業	84.3	13.2	2.5	81.8
卸・小売業	72.7	23.9	3.4	69.3
サービス業	73.8	18.8	7.5	66.3

DI値 = 「影響あり」の構成比 - 「影響なし」の構成比

図表 - 5 原油価格の見通し

(%)

	上がる	高値安定	下がる	DI
全業種	65.8	32.9	1.4	64.4
建設業	75.0	22.9	2.1	72.9
製造業	78.2	21.8	0.0	78.2
卸・小売業	57.9	42.1	0.0	57.9
サービス業	54.4	43.0	2.5	51.9

DI値 = 「影響あり」の構成比 - 「影響なし」の構成比

・調査の概要

● 調査の目的

県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内の景気動向について把握するために実施した。

● 調査の方法

インターネットを利用したアンケート調査（一部FAXを利用）。

● 調査期間

平成18年8月1日（火）～11日（金）

● 調査の対象企業数および有効回答数（回答率）

調査対象企業数：760社

有効回答企業数：392社（回答率51.6%）

● 地域区分

図表 - 1 の通り。

図表 - 1 地域区分

地域名	対象となる市町村名
村山南部	山形市、上山市、山辺町、中山町
村山北部	寒河江市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町
最上	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村
置賜	米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町
庄内田川	鶴岡市、庄内町、三川町
庄内飽海	酒田市、遊佐町

● 調査の内容

アンケート調査は、各企業の業況判断について3肢択一方式を採っている。毎回必ず調査する「定例調査」と、調査時期にふさわしい経済トピックス等について調査する「特別調査」とを設けている。定例調査の項目は図表 - 2 の通り。

図表 - 2 定例調査項目と回答の選択肢

項目	選択肢（択一方式）		
自社の業況（共通項目）	1. 良い	2. さほど良くない	3. 悪い
業界の業況（共通項目）	1. 良い	2. さほど良くない	3. 悪い
売上高（建設業を除く）	1. 増えた	2. さほど増えていない	3. 減った
完成工事高（建設業）	1. 増えた	2. さほど増えていない	3. 減った
営業利益（共通項目）	1. 増えた	2. さほど増えていない	3. 減った
人員や人手（共通項目）	1. 足りない	2. ちょうどよい	3. 余っている
資金繰り（共通項目）	1. 楽になった	2. さほど変わらない	3. 厳しい
原材料等の仕入価格（製造業のみ）	1. 下がった	2. さほど下がっていない	3. 上がった
製（商）品の仕入価（卸・小売業のみ）	1. 下がった	2. さほど下がっていない	3. 上がった
在庫状況（製造業）	1. 増えた	2. さほど増えていない	3. 減った
手持工事高（建設業）	1. 増えた	2. さほど増えていない	3. 減った

（注）各項目とも「前年同期比」、「前期比」、「来期の見通し」について、それぞれ3肢択一方式を採っている。

● 集計方法

各項目とも、現状判断、先行き見通しについてそれぞれD I値を算出する。D I値とは、Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス)の略で、算出方法は次の通り。

例) 自社の業況D I値

$$= (\text{「1. 良い」と回答した企業の割合}) - (\text{「3. 悪い」と回答した企業の割合})$$

たとえば「自社の業況D I値」がプラスであれば、相対的に自社の業況が良いと判断した企業が多いことになる。また、業況の変化の方向(良くなっているか、悪くなっているか)についても分かる。

ちなみに、他のD I値についても同様に、選択肢「1. 」(表4「選択肢」欄をご参照のこと)を選んだ企業の割合から選択肢「3. 」を選んだ企業の割合を差し引いて算出する。

<お知らせ>

F S N会員専用ホームページ(<http://www.net.sfsi.co.jp/cgi-bin/fsn.cgi>)にアクセスすると、統計データの最新版をダウンロードすることができます。こちらも是非ご利用ください。なお、過去の調査レポートや統計データは当社ホームページ(<http://www.sfsi.co.jp/>)「調査レポート」コーナーからダウンロードすることができます。

以 上

<お問い合わせ先>

株式会社荘銀総合研究所

研究開発グループ 熊本/齋藤(信)

〒990-0043 山形県山形市本町1-4-21 荘銀山形ビル8F

TEL: 023-626-9017

FAX: 023-626-9038

E-mail: fsn@sfsi.co.jp

URL: <http://www.sfsi.co.jp/>